

正しく申告・納税 している納税者の 味方でいたい

▷ 現在の業務内容

私の所属する資料調査課(通称「リョウチョウ」)は、主に、**大口かつ悪質な不正**が見込まれる納税者に対する調査を行います。調査事案によっては、1 件の税務調査で 40 人から 50 人の職員を動員し、現場ごとに上司や先輩とチームを組んで、**組織力や機動力を生かしたスピード感のある調査**を行うことが、税務署の調査とは一味違う、資料調査課の特徴です。複雑な取引に対して、高度な専門知識や調査技法が求められるため、チーム一丸となり日々の調査に取り組んでいます。



▷ 志望動機

私は学生時代、漠然と公務員を目指しており、様々な官公庁の説明会に参加していました。そんな中参加した国税専門官の業務説明会において、「適正かつ公平な課税の実現」を目指す**国税組織としての在り方**や、「正直者が馬鹿を見る世の中ではないけない。」と語る、**正義感あふれる先輩職員の熱い姿**を見て、「公務員になればいいな。」という漠然とした考えが、「国税専門官になりたい」という強い想いになりました。

◆ 先輩の 1 日

- 8:30 出勤・メールチェック
- 9:00 局を出発
- 10:00 調査開始
～代表者や取引先に概況聴取
- 12:15 昼食
- 13:00 必要に応じて銀行等で取引内容の確認
- 16:00 帰局
～上司への報告、相談
- 16:30 調査内容を整理、翌日の準備
- 17:00 退庁



▷ 苦労したこと

私が 1 年目の時に担当した税務調査先で、激しい抵抗を受けたことが印象に残っています。どう対応すればよいか分からず最初は戸惑いましたが、上司からアドバイスを貰い、**毅然とした態度で根気強く**調査を続けた結果、調査先の不正が見つかりました。この経験を経て私は、まずは相手の話を丁寧によく聞き、そのうえで臆することなくじっくりと向き合うよう心掛けています。



▷ やりがい、魅力

人々の生活に直結する「税金＝お金」を扱う仕事ですから、職員には高い倫理観と責任感が求められ、税務調査では常にプレッシャーを感じながら仕事することになります。私たちの仕事は、国の財政基盤を支えるのは勿論、正しく申告・納税している方々のためにも重要な役割を担っております。

私は、他にはないこの仕事に、日々大きなやりがいを感じながら、**誇りを持って取り組んでいます。**



message

難しそう・堅苦しいという印象を持っている方こそ、是非、業務説明会等で職員の雰囲気や熱い思いを直に感じていただきたいです！お待ちしております！